

# みえ県連協ニュース

2023年度 No.4 (1月号)

Eメール: miagakudou@outlook.jp

三重県学童保育連絡協議会

津市下弁財町津興1350

059-226-6260

専用携帯電話 080-2651-5711

## 三重県に要望活動を行う！

11月17日に県に対して要望活動を行いました。

県連協から藤田会長他役員3名が参加しました。県からは、子ども・福祉部子どもの方支支援課世古課長、幼保サービス支援班中野班長・吉岡主事に出席していただきました。

主な要望項目とそれに対する回答は、機会をとらえてみなさんにお示ししたいと思います。

今後も話し合う機会を継続的につくっていかねばと考えています。県へ要望がございましたら、県連協に声を寄せていただきますようしくお願いいたします。また、県議会議員の方にも要望書を目を通していただきたいと思います、各会派に届けました。

## 第2回拡大役員会を開催！

12月5日(火)に、オンラインにて桑名から松阪までの役員参加のもと、第2回拡大役員会を開催しました。

県への要望書への回答を中心に説明が行われ、また、国の情勢等について12月全国運営委員会の報告を行いました。各地域から活動状況報告をし、意見交換を行いました。

桑名	1. 桑名市への要望事項について 次年度も、児童数増加が予想されるので、手狭な施設の増設または新設を要望。 また、施設の老朽化に伴い、修繕や交換を要望している。
	2. 9月以降に改善されたこと 12月までに1カ所のみ施設の改善がされた。桑名市としては、限られた予算のなかで、危険度の高いものから順次改善するという方針。
	3. 第2回市連協の会議開催(12月8日) ・児童数、世帯数、支援員数の確認 ・各学童保育所の現状と7月提出した要望書に対する市の対応 ・第2回「市への要望事項」 ・その他 意見交換会
四日市	市連協の活動予定 学童保育係との懇談会 12月21日(木) 指導員確保、運営の在り方、開所時間と職員の配置、一日保育時の昼食について 3月「O(まる)MIE(みえ)みらいのトピテ」就職説明会に参加予定。 指導員の会の活動予定 2月23日(日)合同イベント(ポツジブ大会、大縄跳び大会)

第2回子ども子育て会議 11月14日開催  
学童保育所に関するアンケート実施(二回調査)

市主催研修

12月11日(月) 講師:AMI学童保育センター 中野さん  
新1年生受け入れについて、育成計画について等

第2回市連協役員会開催(11/30)

◎鈴鹿市との懇談会、交流会の実施について(2月1日予定)  
市との交流会の打ち合わせを1月に行う

◎各学童保育所からの質問、相談などについて  
2024年度待機児童が見込まれる問題について

10月以降の市連協の主な活動内容や市内の状況等

・研修について

初任者研修 (2年未満対象)2月までに5回開催  
指導員研修 既いく誌のテーマをもとに学習会「保護者との関わり」

市の研修(市連協と共催)岡山のAMIの職員による講演  
・全国学童保育研究会の報告(現地7人、オンライン12人参加)

要望事項(市長懇談)

・学童保育の解説、及び運営等に関わる市の支援について

・待機児童解消について

「利用の希望についてのアンケート」から、校区によっては待機児童が見込まれることがわかった。鈴鹿に近い地域の在籍率が高い。

これから予想されるところについて公設で要望。

・指導員の処遇改善について

キャリアアップ処遇改善事業について活用されていない。

学童保育によっては財政が厳しい所もある。

国の事業を活用すべく、予算措置をとってほしい。

・障がい児受け入れ体制の整備強化支援について

定期的な巡回指導。

・施設整備について

静養室の設置、AEDの設置

老朽化施設・設備等における点検と整備について

今後の研修

・1月以降に市研修を予定

津

市連協の活動

学童つ子まつり(10月22日(日) 子ども・保護者約1,800人参加)

第3回理事会(11月9日(木))

研究集会(12月3日 250~300名参加)

市長との懇談 12月19日(火) 要望書の提出

学童保育就職フェア 1月14日(日) 津市中央公民館 10:00~12:00

保護者運営の学習会研修

市連協ニュース発行

指導員の会の活動

講師研修 講師:新山智代さん

「子どもの本当の気持ちを知らう~困っている子どもたちを支えるために~」

トツボール交流会	12月16日(土) サオリーナ
市の活動	
12月27日(水) 開催予定の交流フェスティバル事前説明会(市内学童保育所対象)	
運営者向けの説明会(令和6年度小学校長期休暇子ども居場所づくり事業)	
・キャリアアップ研修	12月21日(木)

<県連協>

■全国運営委員会(12/2~3) 報告

- 2023年度(10月~翌年9月) 全国学童保育連絡協議会定期総会開催
    - ①2022年度活動報告、決算報告、会計監査報告
    - ②2023年度活動方針、予算 ※①②両方とも承認されています。
- ※活動方針については、「重点課題」として4点挙げられています。

2. 常勤職員の複数配置の実現を

2023年6月13日に閣議決定された「こども未来戦略方針」に「放課後児童クラブの安定的な運営を図る観点から常勤職員配置の改善」という文言が盛り込まれたことについて、こども家庭庁から学童保育に関わる議員連盟(2つのうち1つ) 総会にて説明がありました。これを受けて、議員連盟から「常勤職員配置の改善」のイシューについて質問があり、こども家庭庁から回答を行いました。  
 ※詳しく内容が、「日本の学童ほいく」1月号の「協議会だより」(P74~75)に載っています。ご覧ください。

3. 全国学童保育研究会

◇第58回全国学童保育研究会 11/4(土)~5(日)  
 コロナ禍前の「参加者同士の交流」に近づけるよう、オンラインを活用するとともに、4年ぶりに会場を設けて行われました。全国各地から4000名を超える参加があり、学び、語りあうことができたことがありました。  
 5日に行われた21分科会「子どもの発達と学力」の配信を三重県連協が担当しました。県連協役員の他に運営スタッフとして津市連協から5名の協力を得て、スムーズな進行を行うことができました。ご協力ありがとうございました。  
 県内からは、166名の参加申し込みがありました。

◇第59回全国学童保育研究会 岡山県にて開催決定!

- ・2024年11月16日(土)~11月17日(日)
  - ・現地とオンラインを併用して実施予定。
  - ・記念講演講師や、分科会の内容について検討を進めています。
- ※今後、進捗状況やニュースを県連協からもメールでお伝えしますのでご覧ください。

■第49回全国学童保育指導員学校(西日本・三重会場) 開催決まる!

開催日 2024年6月9日(日) 10時~16時30分  
 開催方法 午前: Zoom ウェビナー  
 午後: Zoom ミニオンラインと現地開催  
 現地会場 フォトアラブ(フォスト津4階) 予定  
 ※案内は、3月後半に送る予定です。

■第36回三重県学童保育研究会 2024年2月18日(日)

~子どもにも大人にもスナキな仲間を~

全体会 ウェビナーによる開催  
 記念講演講師: 近藤直子さん(あいち障害者センター理事長・日本福祉大学名誉教授)  
 分科会: 3つのテーマに分かれています。Zoom  
 ※詳しいことは、送付済みのチラシをご覧ください。  
 申し込み締め切りは  
 1月16日(火)です。

【今後の予定】

- 1月16日(火) 第5回役員会 Zoom
- 2月18日(日) 第36回三重県学童保育研究会

読むサマリ 『日本の学童ほいく』 12月号

掲載者紹介 ★こどもラジ P37 クイズだよ 10月号の当選者 (三重県 山田さきさん)

読みどころ

★特集 子どもと共に「性」を学ぶ

P18~ 子どもと共に性と性を学ぶ「聊すかしい」から「大切なこと」へ  
 中村好子(元小学校養護教諭)  
 中村先生が、子どもたちと学びあってきたこと、そのなかで大切にできたことが紹介されています。子どもから不意に質問されたり、高学年が低学年の前で性的ことを連呼するなど対応することが現場ではあると思います。その時に、大人がどのように子どもと向きあうのか考えることができました。また、バーソナルスペースの距離感についても触れています。杉田先生(東京都立大)、田代先生(埼玉大)の記事もぜひ一読ください。

★P46~ 講座「子どもの遊び」③子どもの発達・成長と遊びの関わり(その一)

大東文化大学名誉教授・子どもの遊びと手の労働研究会(手労研) 前代表委員 須藤敏昭  
 乳幼児期の「機能の遊び」(実践の遊び)から、言語の発達、「象徴の遊び」(ごっこ遊び)と子どもの知的発達について、発達段階ごとに書かれています。特に、ごっこ遊びが社会的発達に大きな意味を持つことについても触れています。しっかりと読んで、子どもの遊びについて改めて考える機会にしたいです。

★P59~ 日本の四季を「食」から味わう(秋・冬)

高橋比呂映(宮城学院女子大学 食物栄養学科)  
 おやつに旬の食材を使うことを心掛けてきましたが、近年では栽培技術の向上からいるる食材が通年手に入るようになりました。しかし、本来の旬の時期には、寒さ等に耐えられるように実や葉に糖分を蓄えるのでおいしくなるうえに栄養価も高くなるそうです。そういった食材が紹介されていますが、何よりも大人が楽しんで作る姿を見せることが、子どもにも興味を持ってもらうことに繋がると…。その時は興味を示さなくても、ひよっとしたら大人になってから思い出してくれるかも…とか考えながら、気持ちを込めて準備するのも楽しいかもですね。

『日本の学童ほいく』編集部よりお知らせ

大塚集中! 『子どもの作文やイラスト、』どうしてどうして』コーナーへの質問等  
 現在、読者より送っていただいている「こどものひろば」「読者のひろば」などの原稿が足りなくなっているそうです。送り先の住所・フロックス番号等は、「ほいく」のP43に記載されていますので、みなさまのイラスト・作文を是非お送りください。